

財団法人 8020 推進財団

平成23年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名 : 墨田区 お口の健康運動から 健康な地域づくり III

2. 申請者名 : 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 藤重貞慶

3. 実施組織 : 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所
 社団法人東京都向島歯科医師会
 東京都本所歯科医師会
 墨田区福祉保健部保健衛生担当
 すみだ食育推進リーダー会

4. 事業概要:

墨田区をモデル地域として、お口の健康運動から健康な地域づくりを推進するため、「住民」が「あらゆる場面」や「機会」を通じて、歯・口の健康に関する「教育の機会」や「情報」が得られる「地域の環境づくり」を目的に事業を展開した。本年度はこれまで行ってきた、子どもと女性の事業の拡大とその評価を行うとともに、未だ実施していない対象として高齢者を取り上げ、以下の通りの事業を推進した。
 1) 「歯育て教室」への参加拡大を目指し、新たな告知策として「区報に掲載日時掲載」、「近隣児童館に、ポスターの掲示とチラシの配布」を実施。区内の対象者に対する告知方法として有効であった。2) 3歳～6歳児とその保護者に対する歯科保健指導について、保育園や幼稚園等の歯科専門職以外の職員が簡単に取り組めるようにDVD教材を作成した。3) 女性への事業機会の拡大を目指し、保健師等が行う「女性の身体の健康等の事業場面」の活用を企画し、実施回数が増加と、一回で多くの健康に関する内容を伝える機会が実現できた。4) 「子ども」と「女性」に対する活動の評価は、どのような環境づくりが実現できたかという視点で実施。「子ども」の「歯育て教室」、「妊婦」の「母親学級」が活動として定着した。また健康推進者との関係については、課題を共有し、常に情報交換ならびに協議できる環境を実現できた。5) 高齢者は、口腔機能に関わる運動等を日常に取り入れてもらうための「Let's ロトレ」を組み立て、プログラムを普及するために、町内会を活用し講習会を開催した。
 今後は、実施した各施策(プログラム)を、多様な場面に応じ改善し、これまで実施してきた事業の有効性の確認等について、協働してきた健康推進者と共に推進していきたい。

5. 事業の内容:

「地域の環境づくり」を推進するための手段の一つとして、地域の健康推進者と繋がり、協働していくことが重要であると考え、昨年度、一昨年度と同様、地域の保健行政を司る墨田区福祉保健部保健衛生担当を窓口とし、関係者が連携し推進することとした。今回は、これまで実施してきた「子ども」と「女性」の事業の拡大と評価、また新たなる高齢者を対象とした事業を進めることとした。子どもに関しては、「歯育て教室」の参加者の対象地域への拡大と、対象とする子どもの年齢の拡大を、また女性に関しては、他の事業と共同し事業の拡大(増加)を図ることとした。「子ども」と「女性」に対する事業の評価指標は、どのような環境づくりが実現できたかという視点から行った。新たな対象の高齢者は、元気な高齢者に口腔機能の情報が届けられる環境づくりを行うこととした。
 1) 「歯育て教室」に、より多くの区内の対象者の利用が可能となる「環境づくり」のための告知方法を2つ実施した。1つは、毎月3回発行される区内全戸に届けられる区報に、「歯育て教室」の開催日時と内容を年に数回まとめて掲載した。もう1つは、近隣の児童館で「歯育て教室」に関するポスターの掲示とチラシの配布を実施した。結果、参加者が少しずつ増加し、より多くの対象者に参加の可能性を広げることができた。
 2) 3-6歳とその保護者に対し、保育園や幼稚園等の歯科専門職以外の職員が、歯科保健指導に簡単に取り組めるプログラムや教材の必要性が明らかとなり、子どもと保護者に向けた内容のDVD教材を作成した。DVDは、時間や状況に合わせて、必要な内容を選んで使えるよう区切り、内容の解説を仕様書として作成し添付した。使用した施設からは、「とても役に立った・役に立った」との回答とがあった。
 3) 女性の事業の実施機会を増やすために、保健師等が実施している女性の健康事業に、口腔に関する情報提供等を加えることで、回数が増加と同時に、受ける側は一回で多くの健康に関する内容を受講できると考え、今回保健師と連携し、子育てサークルに集う女性に事業を展開した。内容は「女性の体：更年期について」、「女性の歯と口：歯周病と全身疾患等の関係」とした。参加者は、「良かった・やや良かった」と答えた者が97%であり、今後は同様の機会をさらに増す工夫をしながら展開していきたい。
 4) 事業の評価は、「教育の機会や情報を得られる場面」が定着したか、「健康推進者とのつながり」が得られたかの視点とした。「子ども」では、「歯育て教室」が子育てひろばで毎月1回、女性では、妊婦の「母親学級」の講座で歯科の内容が毎月定期的に行われており、どちらも活動場面として定着している。また「健康推進者とのつながり」は、これまでに「行政担当者、保健師、助産師、保育士、管理栄養士、養護教諭等」と課題を共有しながら、情報交換ならびに協議を交わせる「環境」が実現できている。
 5) 高齢者への活動としては、口腔清掃と同様に口腔機能に対する取り組みの重要性を知ってもらい、日頃の生活習慣行動の中に取り入れてもらえるように、4つの項目から成る「Let's ロトレ」を組み立てた。これらを日頃の生活の中で、自然に取り組んでもらえるような普及方法として暮らしの中にあるコミュニティである町内会の活用を試みた。そこで某町内会と保健センターと連携し、口腔機能の大切さを伝えるとともに、「Let's ロトレ」を紹介した。実施後参加者から、「今回のような話ははじめてで、良かった」、「他の人にも紹介したい」とのコメントを得た。
 今後は、実施した各施策(プログラム)を、多様な場面に応じ改善し、これまで実施してきた事業の有効性の確認等について、協働してきた健康推進者と共に推進していきたい。

6. 実施後の評価(今後の課題):

- 1) 事業のさらなる拡大と定着に向けた「環境づくり」の推進
- 2) 口腔保健に関する地域住民の「意識」、「行動」、「口腔内状態の改善」等に対する本事業の効果の確認